

たまがわ つるみがわ さがみがわ
川の市民情報

2022年
6

国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所RCM事務局 URL : <https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>
TEL : 045-503-4015 FAX : 045-503-4092 メール / ktr-keihia50@mlit.go.jp

リバーシビックマネージャー(RCM) : 住民のボランティア活動の一環として、河川管理の支援をしていただくことを目的に創設された制度です

～地域の防災力の向上を～

多摩川・鶴見川・相模川の「共同点検」を実施しています

京浜河川事務所では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」の水防活動の効率化及び水防体制の強化に向けた取組の一つとして、毎年6月に自治体・水防団（消防団）及び地域住民と共同で多摩川・鶴見川・相模川における洪水に対するリスクの高い区間で特に注意すべき箇所（重要水防箇所等）の点検を行っています。

今後とも地域防災活動へのご協力をお願いいたします



多摩川グリーン作戦(多摩川美化活動)
ご協力ありがとうございます！

毎年、沿川自治体の皆様により実施されている多摩川グリーン作戦は、この2年間新型コロナウイルス感染症により、実施できておりませんでした。今年度は多くの自治体で感染症対策を講じた上で開催することができました。

当事務所からは、3年ぶりの開催となった多摩川グリーン作戦（多摩川美化活動）に参加させていただきました。当日は天候にも恵まれ多くの方々が参加されていました。

ご参加いただいた皆様、グリーン作戦へのご協力ありがとうございました！

- ・主催：川崎市美化運動実施本部
- ・場所：川崎市川崎区中瀬河川敷他（全5会場）
- ・実施日時：令和4年6月5日（日）
午前9時から2時間程度
- ・参加人数（全会場合計）：
153団体（9,807人）

※川崎市HPより



—多摩川緊急治水対策プロジェクトの推進—

現地見学会を開催しました！

令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した、多摩川において、国、都、県、市区が連携し、「多摩川緊急治水対策プロジェクト」を進めております。

多摩川沿川市区で構成される大規模氾濫に関する減災対策部会の構成員を対象に事業に対する理解を深めていただくことを目的に「大丸用水堰改築の現地見学会」を開催しました。

詳しくは、事務所HPをご覧ください。

(緊急治水対策プロジェクトURL：https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index134.html)

【開催概要】

- 日時：令和4年5月12日（木）
- 場所：大丸用水堰改築工事現場内（東京都稲城市大丸地先）
- 参加者：5市（稲城市、多摩市、調布市、八王子市、府中市）※五十音順
- 内容：事業の説明、工事内容の確認など

【大丸用水堰の改築】

- ・大丸用水堰の改築は、河道断面を確保する対策として現在の堰を撤去した後、床止工の設置と河道断面の切り下げを行います。
- ・また、改築した後でも取水できるよう、取水施設と堤外水路を設置します。

～見学会の様子～



RCM活動報告 令和4年5月
今回は、ご報告がありませんでした
皆様からのご報告お待ちしております！

RCM事務局より

6月も後半となり、梅雨の本格的な季節がやってきました。

これからの梅雨末期の時期は、梅雨前線が勢力を強めた太平洋高気圧の影響で活発化し、さらには発生した台風が前線を刺激すると、集中豪雨が生じ、災害の危険性が高まります。

こうした状況においては、最近よく耳にする「線状降水帯」が発生するケースがあります。「線状降水帯」とは、活発な積乱雲が列をなして次々と流れ込んでくることでほぼ同じ場所に大雨が降り続く現象です。

気象庁は6/1より線状降水帯の『予測情報』を発表するとの報道がありました。地方予報区単位の情報で、発表されるタイミングは、線状降水帯が発生する『半日から6時間前』となるそうです。

こうした防災気象情報を地元市町村が発令する避難情報とあわせて活用し、大雨に備えることが大切ですね。

RCM事務局 志村・田中・黒田